



ふくもっちゃんの部屋 ~本探しのヒント~

小説などの読みたい本を選ぶ時、棚にある作家順にじっくり探すのも醍醐味ですが、ほかにもこんな本の選び方があります。



★予約ベスト5★

福島市立図書館全体で予約の多い本を発表。今人気の本がわかります。西口ライブラリー入って奥の柱に掲示されています。手元に本が届くまで時間がかかるのが難点ですが、予約を入れて待ちに待って読むというのもいいかもしれません。

★ちょっと昔のベストセラー★

西口所蔵でよく予約が入る本や、話題の作家の本などが並べてあります。同じく奥の柱の東面です。予約や貸出が続き中々棚に戻らない本がタイミングよくあったりするため、来館の際にはチェックすることをおすすめします。



～朗読会「^{とき}ことのはの時間」を開催します～

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和7年9月18日(木)午後2時30分～(40分程度)
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です



図書館カレンダー 9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

図書館カレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

印は休館日

印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

2025年9月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

≪図書館ホームページ≫



新着本案内



『脳と免疫の謎』

毛内 拓 著

NHK 出版(491モウナ)

脳と免疫には密接な関係があり、特に脳の免疫を司るグリア細胞が、心身の健康状態に大きな影響を与えることが最新の研究で分かってきました。脳疲労から様々な病気が起こるメカニズムや、脳の免疫を上げて健康を目指すコツを教えます。



『魅力まるごとタカラヅカ!!』

牧 彩子 著

平凡社(775 マキア)

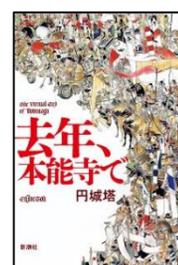
宝塚歌劇団の5つの組の特色や男役娘役の華麗な衣装・ポーズなど、豊富なカラーイラストで楽しむ宝塚歌劇のガイドブックです。初心者が気になるチケットの取り方や座席ごとの楽しみ方といったファン目線の情報が満載です。



『ネコは<ほぼ>液体である』

服部 円 著 子安 ひかり 監修/KADOKAWA(645ハツ)

ビンなどの狭い容器にも収まるネコは、液体のようだと表現されますが、本当に液体なのでしょうか。この柔軟さに焦点を当てた研究「ネコの流動学について」のほか、ネコ好き研究者が厳選した39報の論文を解説します。



『去年、本能寺で』

円城 塔 著

新潮社(Fエンジ)

普通の時代小説では…ありません。細川幽斎は AI で、美濃の齋藤道三は分裂、縄文時代の村で起こる殺人事件にはホームズが現れ、親鸞の息子は偶像で、信長は最早なんでもあり。歴史×SFの短編11編を収録します。



『江戸の食商い』

権代 美重子 著

法政大学出版局(383ゴング)

寿司や天ぷら、居酒屋に大食い大会まで。江戸時代に誕生し、今なお人々に親しまれている食文化は数多くあります。本書は、江戸っ子達の豊かな感性と探求心によって育まれてきた食の営みについて幅広く紹介しています。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

怖い間取り 4 松原 タニシ 著/二見書房(147マツバ4)	メメント・ヴィータ 藤原 新也 著 /双葉社(914.6フジワ)
とんりの史学 加藤 陽子 著 モリナガ ヨウ 絵/毎日新聞出版(210.6カトウ)	惑星語書店 キム・チョヨプ 著 カン・バンファ 訳/早川書房(929キムチ)
昭和20年8月15日 中川 右介 著/NHK 出版(210.7ナカガ)	龍と謙信 武川 佑 著/KADOKAWA(Fタケカ)
ヴァイキング解剖図鑑 小澤 実 監修 造事務所 編著/エクスナレッジ(238バイキ)	七つの大罪 岡崎 琢磨ほか 著/宝島社(Fナナツ)
身近な人を自死で失うということ 寛 智子 著/青弓社(368カケヒ)	ウィンクに警告 南原 詠 著/光文社(Fナンバ)
山怪 青 田中 康弘 著/山と溪谷社(388タナカ)	エリック・サティの小劇場 藤谷 治 著/夕日書房(Fフジタ)
神秘的で美しい海の生きもの図鑑 茂野 優太・石野 昇太 写真・著 井田 齊 監修/ナツメ社(481シゲノ)	海は忘れない 村上 しいこ 著/小学館(Fムラカ)
かんたん薬膳 瀧本 靖子 著/有隣堂(498タキモ)	紅茶とマドレーヌ 野村 美月 著/角川春樹事務所(PFノムラ)
モチーフ&ミニドイリー アップルミンツ(594モチフ)	御隠居用心棒残日録 4 森 詠 著/二見書房(PF モリエ4)
花と動物の切り絵アルファベット garden 著/朝日新聞出版(726ガデン)	磐城平藩 夏井 芳徳 著/現代書館(K212.6ナツイ)

作家とケチ

『忍法帖』シリーズや『魔界転生』などを書いた戦後日本を代表する作家、山田風太郎。戦後の食糧難・物資難を経験した風太郎は、物を無駄にしたくないという精神が強かったようです。随筆『私のケちな部分』には、そんなところが強すぎるエピソードが披露されています。残飯残パンなどを庭に撒き、飛んでくる鳥たちに処分させていた所、そこにエサがあると知った鳥が集まりはじめ、数がどんどん増えていきます。そこで風太郎が米屋から安い米やパン粉を買って撒き始める、なんとも本末転倒な結果に。他にも庭の植木の支柱を無駄にしないため薪にしようと別荘まで運ぶも、かえって燃料費がかさんでしまったり…。本人も大愚策だったと評していました。

参考文献：『日本の名随筆 60』 山田 風太郎 編 (914.6ニホン)

ライブラリアンの

お仕事

展示★名作案内

～働き方も多様な時代、みんな違ってみんな大変！～



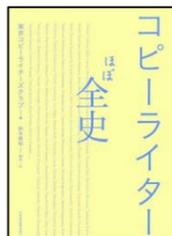
『ひとりだから楽しい仕事』
クオン・ナミ 著 藤田 麗子 訳 平凡社(929クオン)
30年にわたり多くの日本文学を韓国語に翻訳してきた著者が、翻訳家生活について語ります。出版社との翻訳料金に関するやり取りや、韓国版タイトルの決め方など、知られざる苦勞が伺えるお仕事エッセイです。

小川糸や村上春樹などの作品を翻訳しました。



『江戸「仕事人」案内』
岡村 直樹 著 天夢人 イカロス出版(910.2オカム)
捕物で活躍する同心や岡っ引、市井の問題解決に一役買う髪結いなど、時代小説に出てくる稼業とそれが登場する作品を紹介します。鏡磨き師や定斎売りといった聞きなれない仕事もあり、小説の世界がより理解できる一冊です。

100種の仕事を紹介



『コピーライターほぼ全史』
東京コピーライターズクラブ 編 鈴木 隆祐 取材・文/日本経済新聞出版社(674 コピラ)
「セブンイレブン いい気分」、「ポリンキーの秘密」、「白戸家のお父さん」これら名CMたちはコピーライターが関わっているお仕事です。TVCMやポスター、企業スローガン…。その時代を代表した言葉づくりをのぞいてみてください。

「亭主元気で留守がいい」など、流行語大賞を作るほどの影響力！



『わたし、ADHDガール。』
恋と仕事で困ってます。』
司馬 理英子 著 東洋館出版社(493シバリ)
ADHDは注意力が乏しいといった特性がある発達障害で、当事者の中には人間関係に悩む人も多くいます。本書では、仕事や恋愛で起こるトラブル対処に焦点を当て、ミスを減らす工夫や人付き合いを長続きさせる方法を教示します。

自分の特性を理解することが問題解決の近道！



『死ぬまで、働く。』
池田 きぬ 著 すばる舎(289イケダ)
戦前から令和まで、約80年間看護師として働いてきた著者。負傷兵の療養所や精神科など、多様な職場で働いた経験から培われた「仕事がある限り働き続ける」生き方や人間関係における知恵について語っています。

どんな時でも、常に挑戦を！